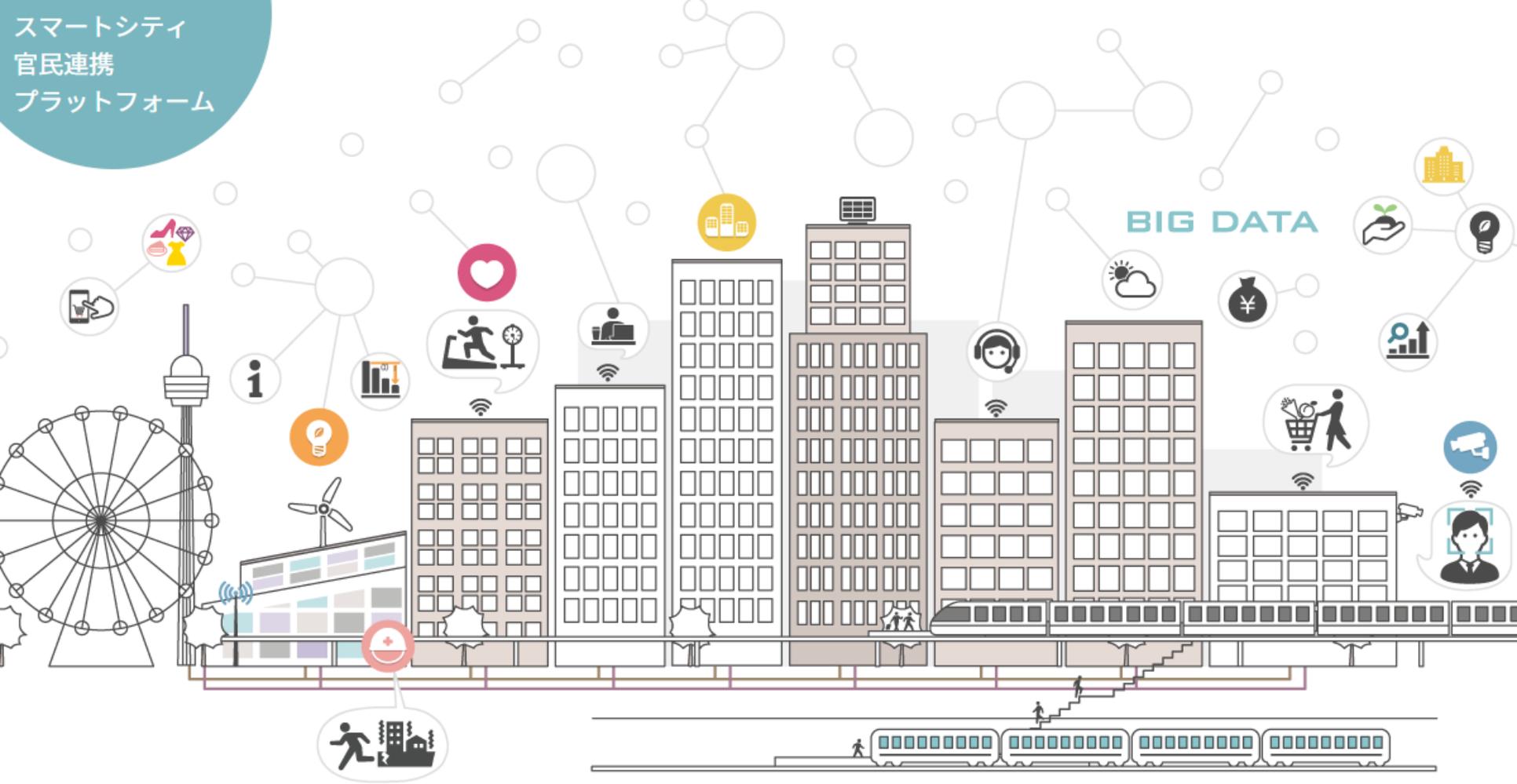


スマートシティ
官民連携
プラットフォーム



都市マネジメント分科会

令和4年度 第1回分科会

はじめに～分科会の実施概要～

都市マネジメント分科会（概要）

分科会提案者：国土交通省、松山アーバンデザインセンター

分科会の目的	各種の官民データ、新技術を活用し、都市計画をはじめとする街づくりなど、都市のマネジメントをどのように効率化、最適化するか、その課題、道筋を検討、共有すること。
解決したい課題	各種情報、スマート技術の「都市マネジメント」への活用促進

分科会での活動内容及び期待される成果

■ 分科会での活動内容

活動1：国内外の事例研究（年度内2回程度）

諸外国や国内の事例紹介、民間事業者の技術等紹介

活動2：都市マネジメントの全体像、課題、実現方策等に係る討論（年度内2回程度）

「どのような行政課題のスマート化が可能か」「都市マネジメント分野で組み込むべき政策課題とその具体化方策は」等に関する議論

■ 期待される成果

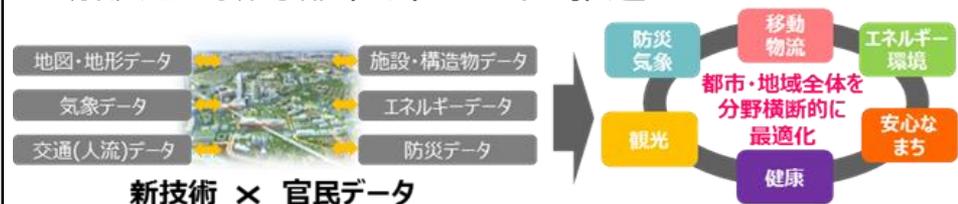
まちづくりの基本としてのスマートシティの高度化、行政サービスの効率化・高度化を通じた国民生活への貢献等

対象分野

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 防災
- インフラ維持管理
- 観光・地域活性化
- 健康・医療
- 環境
- 農林水産業
- 都市計画・整備
- 物流
- セキュリティ・見守り
- その他（全分野共通）

国内外の事例や民間事業者の技術動向を踏まえ、街づくりをどのように効率化、最適化すべきか、都市マネジメントのあり方を議論

⇒新技術や官民データを街づくりに活かし、都市・地域の課題解決につながる都市マネジメントを推進



<h2>分科会の目的</h2>	<p>目指すべきスマートシティモデル構築のため、実装、総合的なスマートシティサービスの提供を念頭に、関連する取組を実施する先進都市同士での意見交換を通じて、知見の共有と課題解決に取り組む。</p>
<h2>解決したい課題</h2>	<p>スマートシティの先進都市は、新たな取り組みを手探りで実行しており、課題の対応も独自で実施しており、知見の共有、相談相手がいない場合が大半である。</p>

<h2>分科会での活動内容 及び 期待される成果</h2>	
<h3>■ 分科会での活動内容</h3>	
<p>活動1：先駆的都市同士による意見交換の場を提供 「防災」、「観光・地域活性化」「交通・モビリティ」分野を念頭に、関連する取組を行う都市同士での意見交換。 (年2回)</p>	
<p>活動2：複数サービスの連携に向けたガイドライン作成のための意見聴取 国土交通省都市局の「複数サービスの連携に向けたガイドライン」(案)作成に向けた要望等について、分科会会員から意見聴取。(年2回)</p>	
<h3>■ 期待される成果</h3> <p>各都市の取組(サービス)を組み合わせ、スマートシティの高度化に繋がるガイドラインを作成。これにより、複数サービス連携による一貫したスマートシティサービスの提示。</p>	

<h2>実施スケジュール</h2>				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
国交省都市局 有識者委員会		●→		●→
本分科会での 意見交換・ 意見聴取		●→		●→
ガイドライン取 りまとめ		●	→	

<h2>連絡窓口</h2>	
団体名 国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 担当者名 大嶋・井川・武内 03-5253-8411 メールアドレス igawa-t2ah@mlit.go.jp	

都市マネジメント分科会

本日のプログラム

今年度は、類似する取組を行う団体が、進捗状況や知見・課題を共有しあうことで、各取組の効率化と高度化を図るため、「防災」、「観光・地域活性化」「交通・モビリティ」の分野に分けて、意見交換会を実施します。

日時	交通・モビリティ分野	9月20日（火） 15:30-17:30 ＜発表団体＞ 茨城県つくば市、埼玉県さいたま市、群馬県前橋市
	防災分野	9月21日（水） 13:30-15:30 ＜発表団体＞ 福島県会津若松市、岐阜県岐阜市、兵庫県加古川市
	観光・地域活性化分野	9月22日（木） 10:00-12:00 ＜発表団体＞ 群馬県嬲恋村、東京都大丸有地区、新潟県新潟市、愛知県岡崎市

	内容	時間
プログラム	1. 先駆的都市による事業内容の発表 当該分野でモデルプロジェクト等に取り組む先駆的都市より、事業内容や進捗を発表いただきます	約45~60分 (1都市あたり15分)
	2. 取組に関する意見交換会 参加団体同士で、取組の成果や課題等に関する意見交換を行います	約30分
	3. 複数サービスの連携に向けたガイドラインの要望聴取 国土交通省都市局で作成中の「複数サービスの連携に向けたガイドライン」（案）に関して、下記のようなご要望を聴取させていただきます <ul style="list-style-type: none"> ➤ 個別サービスを連携する際のポイントや課題 ➤ 実施主体として求めるガイドラインの内容について 	約30~45分 ※終わり次第早めに終了いたします

1 先駆的都市による事業内容の発表

2 取組に関する意見交換会

意見交換にあたってのご案内

同じ分野（防災分野）で取組を推進する団体様同士で、**疑問に感じること・いま感じている課題・やってよかったこと**等を共有いただければと思います。

例えば…

〇〇データの取得・使用をどのように実施しているのか？



実装化に向けた運営体制の構築が難しい。。

〇〇ツールを使うことで、市民の意見を簡単に聴取できよかった！



このお時間でお気軽に意見交換をいただければと思います。

事務局としても、分科会としての研究トピックの参考にさせていただきます。

3 複数サービスの連携に向けた ガイドラインの要望聴取

ご案内

都市局都市計画課では、スマートシティに取り組む団体様が、類似分野の先進事例を参考にすることで、現在実施している事業や実証事業からさらに進歩した取組に、より容易に着手することを後押しするため、「**複数サービスの連携に向けたガイドライン**」を作成しております。

本日、検討中のガイドライン（現時点版）を共有させていただきますので、下記についてご意見をいただければ幸いです。

- **これまで取り組んでいる事業をさらに発展させるため、サービスを追加・連携するうえでの課題やポイント**
(例：人材・ノウハウ不足、資金不足、データ連携手法など)
- **ガイドライン（現時点版）を確認した感想**
追加したほうが良い視点などあればお知らせください